

栽培講習と現地検討会で反収増加を目指す



東組合長より表彰を受ける
松原さん(左:和典さんの
母・京子さん)



役員改選で部会長に森慎一郎さんが再任。副部会長に
小林勇樹さん、監事に稲田壽昭さんが就任しました。

令和6年度産は、異常気象に悩まされ小ぶり傾向となりましたが、品質の徹底で高単価を維持することができました。知恵を分かち合い更なる品質向上を目指し、定期的な栽培講習と現地検討会で生産現場に合わせた指導に力をいれたいと思います。令和7年度作付面積は341a、生産者28戸。収量アップ、優良種子の確保、安全・安心な生産、販売先との情報交換強化で出荷量96tを目指します。近年の優良産地として生き残るために、種子の選定も厳しく行っていきます。減農薬、他園芸品目の複合経営による生産性向上、優良種シヨウガの供給体制の確立などに取り組みます。

❖反収賞で松原和典さんを表彰しました。

にんにく部会 令和6年度総会

北営農センター 吉良優輝

栽培講習会・現地検討会で 更なる品質向上を目指す

令和6年度産は、天候不順により小玉傾向となりました。数量減の単価高ではありましたが、販売環境も厳しい状況となりました。病虫害駆除や栽培講習を強化し、種子の安定出荷、販売販路の拡大等努力してまいります。

❖JAくまにんにく部会より現地視察にられました。圃場の状況や乾燥機、保管庫なども視察。令和5年度は菊池から球磨にも出向き交流を深めています。栽培管理、出荷体系など意見交換を行いました。



総会であいさつする
水上部会長



JAくまにんにく部会より視察